

乳幼児期からの喘息・アトピーと中学期の高熱を経て高校生活へ進んだ小児アトピーの経過 (16 歳 男児)

症例 ID：001-16-STk | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

乳幼児期から喘息と発熱を繰り返し、月の半分ほど医療機関へ通う時期がありました。小学校 4 年生頃からアトピーが強くなり、複数の医療機関を受診しました。

中学 3 年生の春に 5 日間の高熱、腹部の水疱、全身の赤みと落屑がみられ、抗菌薬の点滴を受けました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	過去の外用薬・内服薬の詳細は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前の使用歴は不明です。来院後はステロイドを使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳幼児期	喘息・発熱	喘息と発熱を繰り返し、頻回に受診しました。
小学校 4 年生頃	皮膚悪化	アトピー症状が強くなり、複数の医療機関を受診しました。
中学 3 年春	高熱・全身症状	5 日間の高熱、腹部の水疱、全身の赤みと落屑がみられました。
その後	治療開始	煎じ薬と漢方入浴を開始しました。
約 1 年間	全身の変化	風邪、発熱、喘息、鼻炎がみられなくなり、顔面の皮膚状態も整いました。
16 歳時	生活変化	希望する高校へ進学し、サッカー部で活動していました。

4. ピーク時期

ピークは、中学 3 年生の春に 5 日間高熱が続き、腹部の水疱、全身の強いかゆみ、赤み、落屑が重なった時期です。

5. 困りごと

- 受験期に強い皮膚症状があり、心理的な負担が大きくなりました。
- 高熱が続き、入院が検討される状態となりました。

6. 経過のまとめ

治療開始後の 1 年間は風邪、発熱、喘息、鼻炎がみられず、顔面の皮膚状態も整いました。

16 歳時には希望する高校へ進学し、サッカー部で活動していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。